

# (事業所向け) 児童発達支援事業所における自己評価表

公表：平成 31年2月7日

事業所名 COMPASS発達支援センター 熊本東

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員は熊本市の推奨に沿っており、指導訓練室等のスペースは、国が定めている基準を十分に満たしています。
	2	職員の配置数は適切である	○		職員の配置基準を常に満たしています。加えて個々の特性に応じて個別指導でも対応しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用児童一人ひとりに応じて、視覚的・感覚的に分かりやすい環境を心がけています。バリアフリー化や手すりの設置について、前向きに検討をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々清掃と消毒を行っています。また、利用児童の活動に合わせて、空間の設定をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		業務改善会議を月2回以上行い、職員間での意見交換を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的に保護者の方にアンケート(評価票)を配布し、常に改善していくように心がけています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートの度に、改善策等を記した「報告書」を、保護者の方々にお配りしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在実施しておりませんが、今後必要に応じて実施を検討いたします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に2回以上、施設内で研修を行っています。外部の研修にも、率先して参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年ごとのモニタリングの度にアセスメントを行い、利用児童と保護者様のニーズや課題を反映させた個別支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを利用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画は、ガイドラインの支援内容から必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しています。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動内容は職員間で話し合いながら行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ケース会議や毎朝の朝礼において、活動内容の見直し等を行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		利用児童に応じて、個別対応と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼において、支援内容や役割分担を打ち合わせています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は必ず振り返りを行い、利用児童の様子や気付いた点などを報告し合っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		「個別支援経過」を支援後に必ず記入し、支援の検証や改善に役立てています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとにモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの判断を行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者や児童発達支援管理責任者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関との連携会議を常に行っています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		利用児童の状況に応じて、医療、保育、教育等の関係機関との連携を行っています。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		利用児童の状況に応じて、主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援がスムーズに行えるように、情報提供や共通理解を徹底しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援がスムーズに行えるように、情報提供や共通理解を徹底しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関との連携会議に参加し、研修等にも参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		保護者様のご意見を伺いながら、今後検討していきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		区によって行われている協議会に、参加しています。

関係機関や保護者との連携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳または送迎の際に、利用児童の様子や見えてきた課題を丁寧に説明しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		保護者の話を聞き、家族支援を行えるような対応をしています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約をする際に、運営規程や重要事項の説明を、丁寧に行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインと個別支援計画書を示しながら、支援内容を説明し、保護者の方々に同意を得て、サインを頂いています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様の子育て等の悩みや相談に、いつでも応じています。また、必要な助言や支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		茶話会を計画中です。保護者様同士が連携を図れるようにサポートしていく予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		意見箱の設置を周知しています。また、相談や申入れがあった場合は、管理者または児童発達支援管理責任者が、迅速に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		コンパスだよりを定期的に発行しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の記載があるものは、施錠できる書類棚に保管をしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードやスケジュール表などを活用し、視覚的なアプローチを行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	保護者様のご意見を伺いながら、地域の方も参加して頂けるような企画を、今後検討いたします。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		施設内に各種のマニュアルを掲示しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に火災・地震避難訓練を行っています。また、消防署にて救命講習を受講しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントや児童状況確認表に項目を設け、事前に確認をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様にアレルギー等の確認を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを作成し、常に職員間で情報共有をしています。

非常時等の対応	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のための研修に参加しています。また、虐待防止委員会を設け、適切に対応しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		（部屋からの飛び出し、自傷行為、他者へ危害を加える可能性がある場合など）子どもの命に係わる場合であることを、保護者様に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画に記載しています。